

第5学年 算数 「合同な図形」(習熟コース)

本時について

■目標

○合同な三角形をかくのに、必要な構成要素を用いて、合同な三角形をかくことができる。

■プログラミング教育の視点

○合同な三角形をかくために必要な構成要素に気づき、目的に応じて有効な手順を考える。

本時の流れ

	●主な学習活動	○支援・留意点 ☆教科等の評価(評価方法) ★プログラミング教育の視点に関わる評価(評価方法)
導入	<p>●前時の学習内容を振り返る。 T: 合同な三角形をかくためには3つの頂点の位置が決まるとかけたね。 どんなことが分かったときに三角形がかけたかな。 C: 3つの辺の長さが分かったとき。…</p>	<p>○本時に課題を考えるために必要となる、既習事項の確認をする。</p>
展開	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">辺の長さや角の大きさを用いて三角形を作図しよう</p> <p>●問題の題意をとらえ、課題をとらえる。 T: P73 ④①~③の三角形をかこう。</p> <p>●問題の条件に合った三角形のかき方を考え、カードを並べてみよう。並べたカードからだいたい形をかいてみよう。 T: ①の問いを読んで、合同な三角形をかくための手順を考えよう。 C: 2つの辺とその間の角がわかっているから…。</p> <p>●作図の方法を互いに確認し、作図してみる。 T: まず4cmの直線をかきます。 次に線の端から60°はかり印をつけます。 線の端と印を結び7cmの直線をかきます。 3つめの辺をかきます。</p> <p>●②③の手順を2つとも考えてから、三角形を作図する。</p>	<p>○ワークシート、辺・角の手順カードを準備し構成要素を並び替えながら、考えられるようにする。</p> <p>☆合同な三角形をかくことができる。 (ワークシート)</p> <p>★構成要素から三角形のかき方を考えて手順カードを並び替え、それをもとに三角形をかくことができる。 (発表・ワークシート)</p>
まとめ	<p>●本時を振り返って自己評価を行い、次時への見通しをもつ。</p>	<p>○学習感想をノートに書く。</p>